

活動レポート

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会

技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会 幹事 永井 登茂美

ミライの技術士・技術者が働きやすい環境づくりに向けて！ 2024 第 10 回・第 11 回ミライカフェ

1. ミライカフェって何？

当研究委員会では、2019 年度から、技術士・技術者がより働きやすい今後の環境づくりに向けて、「ミライカフェ」を実施しています。

「ミライカフェ」は、カフェのようにリラックスした環境で、少人数で、楽しみながら少しまじめに意見交換を継続的に行い、議論を積み上げた結果をまとめて情報発信することを目指しています。

過去、2019～2023 年度に 9 回開催し、「働き方改革の必要性」「テレワークはミライの働き方を変える???」「チームで成果を出す」「働く環境の多様性」「世代ごとの課題やいきいきと働くために必要なこと」「理想の働く環境」「いきいきと働く未来に向けて」をテーマとして、毎回の議論の結果をふまえて次のテーマを設定し、議論しています。

近年では、道南技術士会との連携により、函館と札幌をオンラインでつなぎ、一緒に議論させていただいています。カフェなので、毎回、お菓子と飲み物を準備して議論していますが、札幌と函館それぞれのおやつ自慢も。距離を超えて、みんなで楽しく、また、有意義に議論しています！

2. 第 10 回(2024.8.31)の実施概要

第 10 回ミライカフェ(参加者 35 名)は、このミライカフェを 10 月に開催される技術士全国大会にて一区切りとし、次の段階へ向かうために、全国大会の内容を意識した議論を行いました。

これまでの議論をふまえ、いきいきと働くためには多様な「コミュニケーション」が重要であるということが 1 つの切り口としてわかってきたため、今回は、『いきいきと働くためのコミュニケーション』をテーマとし、1 つのグループに若手とベテランが混ざって議論しました。



写真-1 議論の様子

まず、「誰とのコミュニケーション」が重要かについて、スマホでアンケート行い、『上司と部下』のコミュニケーションとの回答が多く、その他、家族や同僚などがあがっていました。

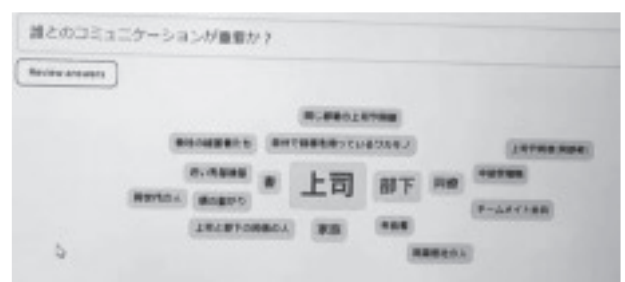


図-2 「誰とのコミュニケーション」が重要か

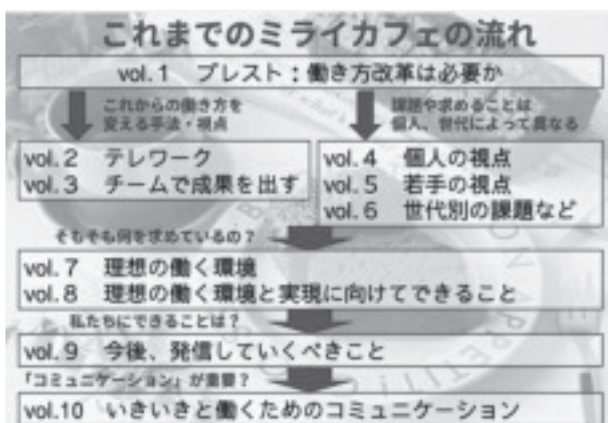


図-1 これまでのテーマ

次に、「どんなコミュニケーションが必要か」について、「会社に頼らず、若手が交流できる機会を作った」「在宅勤務の導入でコミュニケーションがとりにくくなった」「会社の休憩スペースを充実・活用する」「立場は違っても、よいものを作り上げたいという気持ちを互いに持ってコミュニケーションをとればよいのでは」「オンラインを活用することにより、このように函館と札幌で話し合う機会ができているのは良い」など、たくさんの意見が出されました。



写真-2 テーブルでの議論の様子

3. 第11回(2025.3.8)の実施概要

10月の全国大会の第4分科会では、『キラキラ技術士』というとても素敵なワードが出されました。「キラキラ技術士を目指す」ことは、今後のミライカフェの明確な目標になったと思います。

第11回ミライカフェ(参加者27名)では、全国大会の第4分科会で出された、キラキラするために必要だと思うことで多く出されたキーワードの「サードプレイス」に着目し、議論を行いました。



写真-3 議論の様子(札幌会場)

今回の会場は、よりカフェらしく、おしゃれなレンタルスペースをお借りして開催しました。

最初に、全国大会第4分科会の内容を報告し、「みんなのサードプレイス～キラキラし続けるために～」をテーマに議論しました。

それぞれのサードプレイスについて、主に、趣味の場、技術士会などの活動の場があげられました。サードプレイスの捉え方についての議論もあり、職場、家庭、その他というように区分するものではなく、たくさんの場の関わりのなかで、仕事のモチベーションがあげられるのではないかという意見も出しました。

いろいろな意見が出た結果、技術士会、また、このミライカフェも、仕事のモチベーションに関わる1つのサードプレイスになるのではないかという意見もあり、今後もより良い場として継続していければと思いました。



写真-4 議論の様子(函館会場)



写真-5 おやつ対決！

4. おわりに

継続的に実施しているミライカフェですが、今後は、広く発信する方法や全国での展開等についても考えながら、『キラキラ技術士』に向けて、まだまだ、楽しくみんなでお話し合いを続けていきたいと思えます！